

自然休養林情報

台風襲来に伴う補修・点検の実施

今年の屋久島は、台風の当たり年で8月～9月にかけて相次いで接近したため、既に昨年の年間降雨量に達し、自然休養林（ヤクスギランド・白谷雲水峡）においても台風の被害を受けました。

保全センターでは、安全で快適に利用できるよう定期的に点検を実施しています。しかし、これまでの台風で枯れ木が遊歩道に倒れ栈道を壊したり、栈道の敷石が流されていたため利用者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしてしまいましたので、職員により風倒木の除去や遊歩道の手摺り、栈道の補修、及び木道の張板・ボルトの緩み・石張り等についても入念に点検しました。

今後とも自然休養林を訪れる皆様に快適な利用をして頂くために、林内の整備や環境美化に努めます。

いま遊歩道沿いでは、黄緑色に咲いたハリギリの花を頭上に見ながら、地表には、奴さんが踊っているようなヤッコソウと濃赤色の可憐な花を付けたツチトモチが、皆さんを迎えてくれています。ぜひ、自然休養林に足を運んで、屋久島の秋を楽しんで下さい。

今年の年間降水量 一万mmを越えるのは確実

◇平成十一年八月末迄のデータがまとまる◇

今年の八月末時点での降水量が淀川観測点で既に九千五百七十五mmに達し昨年の年間降水量を越しており、特に、六月から三ヶ月間の降水量が多く続いたために、日照不足による農作物への影響が心配されます。

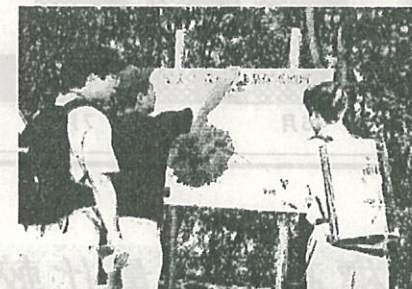
これまでの観測結果を見てみると、山間部五箇所の観測点において六月から八月までの三ヶ月間連続で千mm以上の雨量を観測しています。また、標高千三百八十mの淀川観測点では、千三百mm以上の雨量を観測した月が五ヶ月あり八月末時点で昨年の年間降水量八千六百七十mmを遙かに越え九千五百七十五mmに達しています。今年の年間降

水量の最多地点は驚異の一万mmを超えると予想されます。その他、宮之浦観測点では、六月八日五時から一時間に百十一mmを観測し保全センターが平成七年より観測し始めて以来の最大時間降水量を記録しています。保全センターでは、屋久島の主要地点七箇所に雨量計を設置して観測を続けています。今後も雨量等の森林気象

を観測し永続的なデータを保存することにより貴重な森林の保全と山地災害防止に役立てていきたいと思えます。なお、裏面に観測地点別の雨量データと雨量比較グラフを掲載しています。

屋久島の森林環境保全を学ぶ

九月十四日に東京農大地域環境科学部造園科学科夏期研修の一環として、保全センターが屋久島の環境保全に関する講義依頼を受け、保全センターの業務紹介や森林環境保全



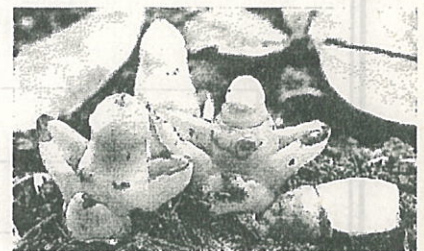
環境問題に専攻している学生からは、登山者のマナーや縄文杉の樹勢回復について活発な意見が出されました。また、九月三〇日には、広島地方検察庁の研修計画により司法修習生七名が、森林環境保全の取組等についての研修を受けた後、ヤクスギランド内の清掃作業を行いました。

環境NGOによる保全活動開始 《ヤクタネゴヨウ分布調査》

種子島と屋久島だけに分布する絶滅危惧種のヤクタネゴヨウ保全のため、九月二六日に第一回のボランティア活動による調査が実施されました。これまで森林総合研究所をはじめとする研究機関の調査から、屋久島には高平、平内平瀬の三地区（国有林内）で千五百本が残存していると推定されています。

今回の調査は全労済の環境問題活動助成のもと、屋久島の住民一五名（手塚賢至代表）により毎月第三日曜日に一年間かけて行われ、生立木の本数を明らかにし、立木位置図を作成するのは初めての試みであり、今後の保全活動に大いに役立つものと期待され、保全センターも調査の支援をしていきます。

屋久島の植物



ヤッコソウ
(ヤッコソウ科)

四国以南から沖縄にかけて分布する一年草。屋久島ではスタジイの根に寄生し、標高二〇〇m前後の所に群生地が見られる。花期は九月十一月で、開花時には全体が乳白色であるが組織が死ぬとその部分は褐色に変わる。奴さんの踊る姿に似ているのでこの名がついた。

修習生にとって、将来、法曹界に携わる上で貴重な体験となったことでしょう。

盗難事件等の 防止にご協力を！

八月以降、ヤクスギランド管理棟の侵入盗難事件、楠川歩道分岐地点に設置してある入り込み者自動観測装置のソーラーパネルの盗難事件、そして白谷雲水峡内の弥生杉の樹幹損傷事件が相次いで起こりました。



屋久島の森に入る人に悪人はいないと信じたいため、悪質な行為に怒りと無念の感を隠し得ません。今後このようなことが起きないよう不審者への注意を払うとともに、見かけたら直ちに保全センターへ連絡されませうようご協力をお願いします。

平成11年地点別雨量一覧表

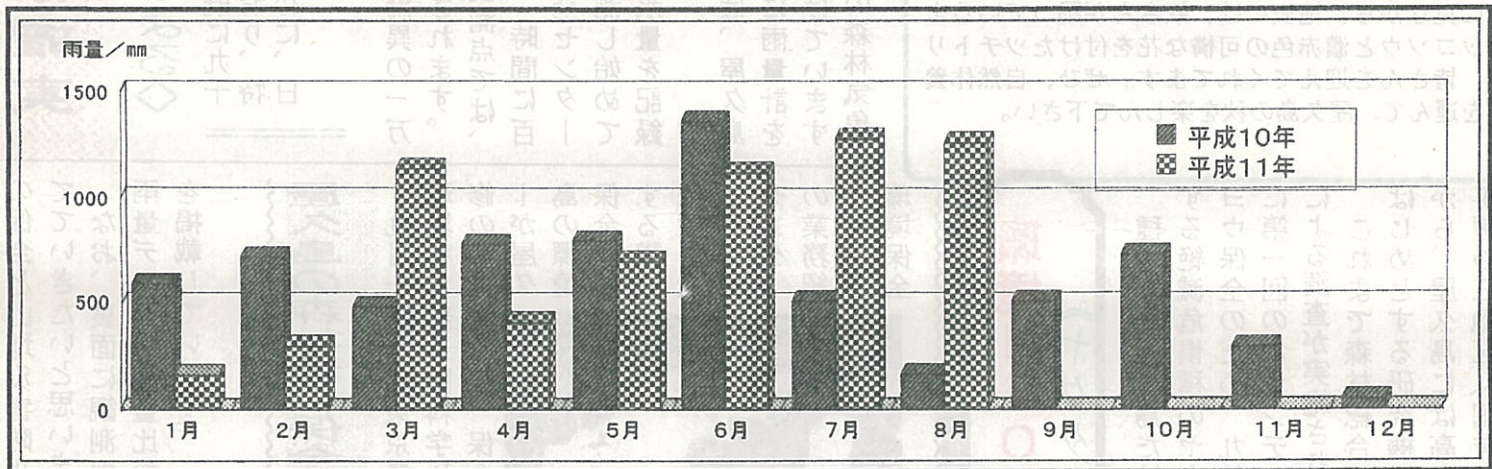
雨量計設置箇所	標高	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
保全センター	20m	115.0	170.5	789.5	173.0	300.0	767.0	681.0	603.0	3,599.0
宮之浦林道	500m	193.5	318.5	782.0	220.5	679.5	1,133.5	1,153.0	1,421.5	5,902.0
白谷雲水峡入口	560m	196.5	333.5	1,368.0	274.5	534.5	1,151.0	1,236.5	1,044.5	6,139.0
小杉谷事業所跡	680m	194.5	353.5	1,701.0	619.5	734.5	1,329.5	1,452.5	1,260.0	7,645.0
大川林道終点	1020m	173.5	312.0	655.0	403.5	166.5	—	1,242.5	1,455.5	4,408.5
淀川登山道入口	1380m	183.0	420.0	1,893.5	815.0	1,401.5	1,385.0	1,857.5	1,619.5	9,575.0
黒味岳山頂付近	1800m	101.0	207.0	799.5	334.0	549.5	1,004.0	1,286.0	1,456.5	5,737.5

※ 欠測 大川観測点 平成11年 5月22日～7月13日

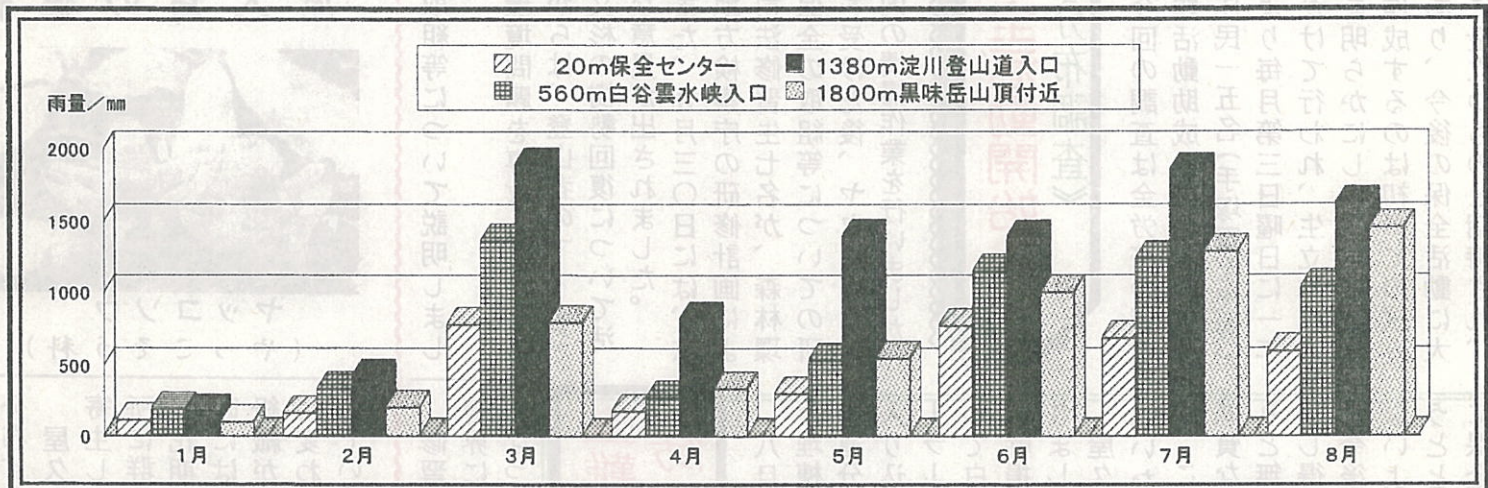
平成10年、11年月平均雨量比較表

月平均値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成10年	591.5	709.7	480.1	780.4	792.1	1,356.9	509.5	165.1	507.6	736.4	289.4	50.0	6968.7
平成11年	165.3	302.1	1,141.2	405.7	699.9	1,128.3	1,277.8	1,265.8					6386.1

この平均値には、雨量に影響すると思われる大川観測点の5月から7月の数値は含めていません。



標高別雨量比較表



この表から見ると、標高が高くなるにつれて雨量が多くなるが黒味岳山頂付近になると減少している。また、著名屋久杉が多く分布している標高1,300m付近での雨量が多いことが分かる。